

最近の海外GRC施工例

Cem-FIL News より抜粋

世界のGRC—フランス I

“LA BELLE ÉPOQUE” の精神を再現

ニースのサンロコにある20年を経た“Les, Cheres”（柏亭）が改修により、今世紀初頭にこの有名な街が謳歌していた“Belle Epoque”（良き時代）の精神と建築様式を取り戻した。

建築家の Charles-Jean-Schémltz は昔のホテル建築の優美さ、すなわちバルコニーのない存在感、弓状出窓の優雅さ、意識的に変化を付けた窓高さ、視覚的にあざやかさを演出する数多くの装飾部材等を再現するためにGRC部材を使用することに決めた。

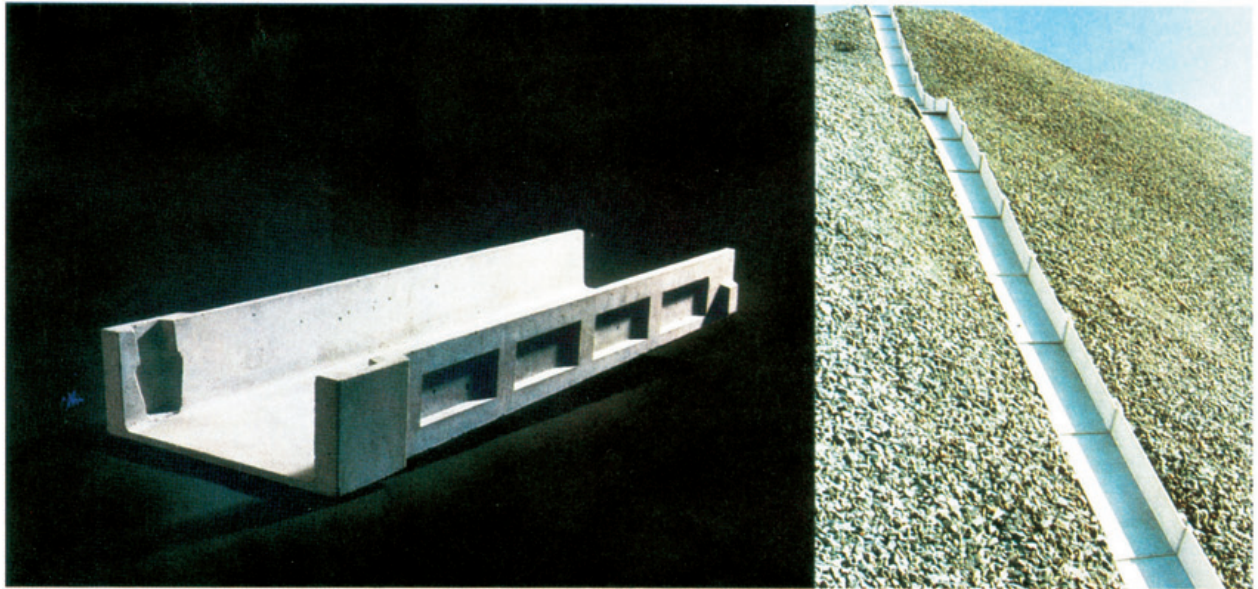
外装材は言うに及ばず、軒蛇腹、窓回り、方立と窓間壁等全部で1,100の部材が、地元のCem-Fil GRC製造業者“Sparcos”により製造された。設計者は色々な材料を使い、建物のスケールを変え、その高さを目立たせることを意図的に行った。

外装の建築的華麗さは、建物の新しい個性と建物の名前を強調するための柏の葉を彫り込んだGRC製のメダリオンを使用することで高められた。Sparcos社のMr. Ferrerは、このプロジェクトは、GRCが南フランスでの改修・新築両面での重要な建材として定着する好機を与えてくれたと語っている。また、GRCは型に精緻な細工を施すことで素晴らしくなりしかも軽いから、このフランスの優雅な地方になじむ建物に不可欠な材料だとも言っている。

Cem-Filのフランス駐在員 Hervé Delattre は、これに加えて、ニースのオークビルの改修はGRCの自由な成形性を示す素晴らしい例である。設計者は、良い作品を作るために、又建設業者は先例のない建築様式を実現するため



にGRCを認めざるを得ないであろう。更に建物に住む人達の生活習慣がわずかでも改善されることを期待していると語っている



世界のGRCーフランスⅡ

精巧な接合部を持つナイヤガラの滝

巧妙に設計され、適切な商品名“ナイヤガラ”で上市された側溝は布設し難い場所に使用するために開発された。1 mで15 kgと軽量だから、取扱い易く、現場での施工費と運搬費が削減される。

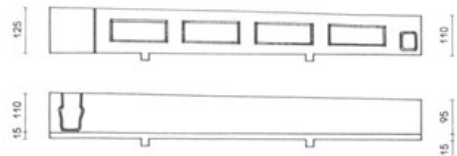
GRCを薄い断面で成形した、このナイヤガラ排水システムは、大容量で、他のプレキャストコンクリートより軽いと言う利点だけでなく、きれいである。かみ合わせジョイントに設計されているため、このシステムは捨てコンクリートが必要なく、傾斜地でも滑ることなく、早く簡単に施工出来る。このシステムは、フランスのクレメンスにある Madras GRC 社で供給している。現在は断面の内部寸法が異なる、ナイヤガラ 25、35、50 の3種の規格品を製造している。

この会社はフランス以外のGRCメーカーに技術ノウハウを提供することを考えているので、もよりの Cem-Fil 代理店か Cem-Fil International に直接連絡されたい。

NIAGARA EXISTE EN 3 VERSIONS

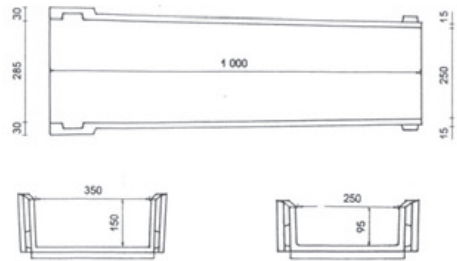
NIAGARA 25

Longueur : 100 cm
 Longueur utile : 90,5 cm
 Largeur int. : 25 cm
 Hauteur int. : 9,5 cm
 Poids : 15 kg
 Coñditionnement : palette de 42 éléments
 Existe en longueur 50 cm
 Poids : 9 kg



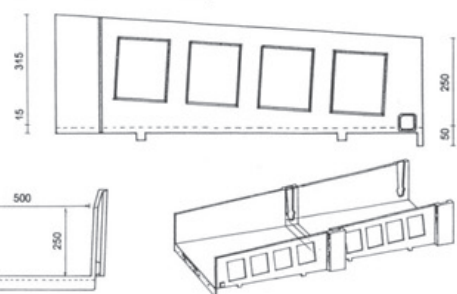
NIAGARA 35

Longueur : 100 cm
 Longueur utile : 90 cm
 Largeur int. : 35 cm
 Hauteur int. : 15 cm
 Poids : 21 kg
 Conditionnement : palette de 42 éléments



NIAGARA 50 (A DISSIPATION D'ÉNERGIE)

(«Marche» de 5 cm)
 Longueur : 100 cm
 Longueur utile : 89,5 cm
 Largeur int. : 50 cm
 Hauteur int. : 25 cm
 Poids : 38 kg
 Conditionnement : palette de 12 éléments



BREVET
 CBS
 PROCESS

madras
 PRODUITS BÉTON & CCV

S.A. au capital de 500 000 F
 75 rue G. Clemenceau - B.P. 12 - 85140 LES ESSARTS
 Tél. 51 62 80 16 Fax 51 62 93 22

世界のGRC

ドイツ

デュッセルドルフ

空港の防音壁

デュッセルドルフの建築家ハンス・ヴェルナー・ブラントの基本構想による新しい意匠の防音壁が、リーネ・ルール空港とアウトバーンA44を結ぶ橋に使われている。

防音壁は幅2.5m、高さ0.5mのパネルを鉄骨ないし鉄筋コンクリートの支柱に接合するものである。部材は空隙率38%以上で70mm×30mmの空隙を持つ格子構造であり、使用条件に応じて空隙率が変更出来るようになっている。この防音壁は他の材料と組合わせて使用出来るし、必要な高さまで積み上げることも出来る。

この高い吸音性のある壁は、2TW-LWS88の規格にすべて合致した。Cem-Fil GRCで造られており、ブルーの支柱に調和するようにレンガ色にしてある。

この部材が空港近くの橋に採用された理由は、薄いからである。工場で作られた部材は、施工現場に運ばれ、あらかじめ作られた基礎の中に簡

易クレーンで落とし込み、支柱に接合される。

この防音壁は Dyckerhoff & Widmann AG



と Faserbetonwerk Kolbermoor の 2 社で開発したが、その開発責任者は、この開発に参加した全員が最終結果に大変満足していると語っていた。



世界のGRC—アラブ首長国連邦

GRCはアラブ首長国連邦で高い評価を得ている

1989年にアラブ首長国連邦で完成した大きなプロジェクトについて以下に述べる。

SharjahのArabian Profile社は、GRCが建築材料として、会社の中で重要な位置付けになりつつあると報告している。

同社は、地元の建材市場に、アルミとスチールの折版を供給するために1986年に設立され、建材会社として地域で有力な会社になるために、業様を拡大してきた。

同社がAjiman首長国の新Ajiman Soukビル(Souk:市場)の大きなGRC工事を完成させた1989年からGRCを扱うようになった。Soukは114の店舗とロビーや回廊などで構成された巨大なショッピング複合ビルであり、このビルに使われたGRCとプレキャスト部材の総額はおよそ500万Dirhamsである。

GRCは、スチールスタッドフレームの外装パネルや梁・柱カバー、装飾間仕切り、空調カバー、装飾アーチ、直径5mの噴水、天井部材

等、印象的なエントランスの外装は勿論、その他の装飾部材として広範囲に使われている。最近ではDubaiの壮大な個人住宅(写真)やSharjahの新シティホールを受注している。

シティホールにはパラペットを含む大きな石貼のGRCパネルや天井、装飾、アーチ、柱、柱頭や大変華やかな両面石貼仕上げの間仕切りが使われている。SharjahやDubaiの他Al AinやAbu Dhabiでも数多くの工事を行っている。

同社のGRC部門の責任者Jamal F. Awadehは、我社は1986年に設立してから建材市場で大変高い評価を得ている。そして、最近導入したGRCは会社の重要な位置を占めており、特に各種石貼仕上げのGRCが事業に貢献している。Arabian Profile社は、GRCの自由な成形性をフルに活用しており、首長国の施主が望む大変複雑な装飾を再現することが出来る。The Ajiman SoukはGRCで造ることの出来る多様性と自在性を証明しているし、材料と我社の可能性を示す素晴らしい展示場であると語った。